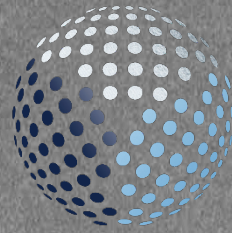


2017年12月期 第2四半期累計(上期) 決算説明資料

2017年7月28日



(東証一部 証券コード:2174)



GCA Overview

高品質なグローバルM&Aアドバイザリーファーム



グローバル
カバレッジ
10か国15拠点

Local Win,
Global One
各地域で
高品質なサー
ビスを提供

特にテクノ
ロジー、インダ
ストリアル分野
のM&Aに強み
を持つ

世界に
約300名の
プロフェッショ
ナル

クロスボー
ダー案件を
得意とする

グローバルの
売上高は約
200億円*

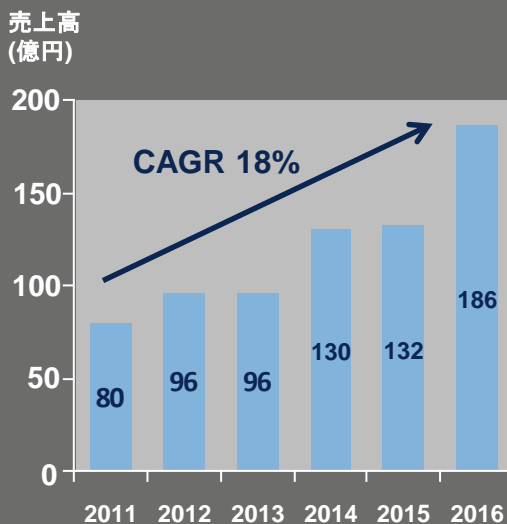
GCAの特徴

経営理念は
「For Client's Best Interest」
(クライアントの最善の利益を追求)

欧州アルティウム社との経営統合による
グローバル体制の構築
↓
シナジー効果始動

4期連続増収増益

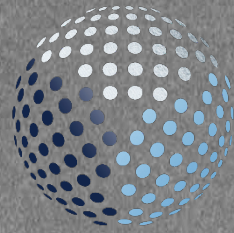
グローバルの売上高は約200億円規模
(2016年通期のGCAとアルティウムの実績を合算)



M&A、Equity/Debt Capital Marketsの
アドバイザー
ビジネスに特化

健全なバランスシート

配当と自社株買いで
Non-GAAP純利益の
100%株主還元



2017年12月期 上期の業績

2017年上期の業績

FY2017 上期 Non-GAAPへの調整	FY2017 上期		
	日本基準	調整*	Non-GAAP (調整後)
売上高	6,821	-	6,821
営業利益	(516)	647	130
純利益	(686)	647	(39)
EPS(一株当たりの純利益)** (¥)	(18.14)		(1.05)

2017年上期の総括

- 2017年上期の連結売上高は68億円
- 既に公表された複数の案件の成功報酬(総額約50億円)を下期に計上する予定。
- アドバイザリー案件の受注残は引き続きグループ全体で高水準を維持。
- 欧州アルティウムとの経営統合によるシナジー効果は大きく、特に欧州で売却案件の受注が大幅に増加。
- 業績予想は変更無し。
- 今期より変更した新たな配当方針である「年間35円の固定配当」に基づき、中間配当17.5円/株を8月15日に実施する(前期の10円/株より増配)。

現時点において公表済で2017年下期に計上される予定の主な案件



BREITLING
1884

CVCによる
BREITLINGの株式80%
の取得



CVC
Capital Partners

We advised Breitling



KONICA MINOLTA

コニカミノルタによる
Ambry Genericの買収



Ambry Genetics™
with Innovation Network
Corporation of Japan

We advised Konica Minolta

GLASS FOR FUTURE



Nippon Electric Glass

日本電気硝子による
米PPGのガラス繊維事
業の買収



PPG

*We advised
Nippon Electric Glass*




GS YUASA

GSユアサによる
パナソニックの
鉛蓄電池事業の買収




Panasonic

We advised GS Yuasa



**JOCHEN
SCHWEIZER**
Du bist, was du erlebst.

ProSiebedSat.1による
JOCHEN SCHWEIZER
の買収



**ProSiebenSat.1
Media SE**

*We advised
Jochen Schweizer*



**ODEWALD KMU
univativ**
YOUNG POTENTIALS



Triton

ODEWALD KMUによる
univativの
Tritonへの売却

*We advised Odewald
KMU and the founders*



grupa pracuj

TCVによるgrupa pracuj
の少数持分の取得



TCV

We advised Grupa Pracuj



REIFF

REIFFによるタイヤ事業
のBain Capitalへの売却



BainCapital
PRIVATE EQUITY



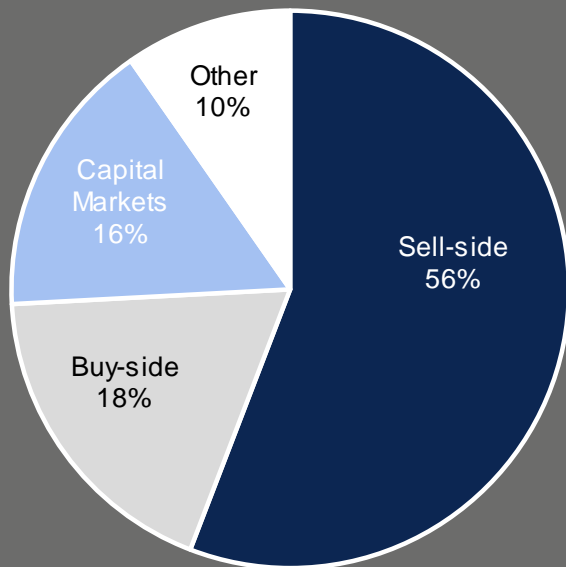
**FIN
TYRE**

We advised Reiff

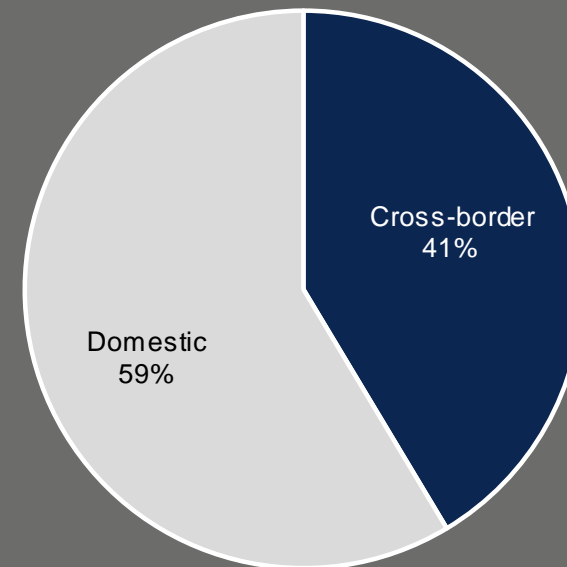
案件の属性分析

- ✓ 欧州では成約率の高い売却案件が多く、全体としてはバランスのとれた取引形態
- ✓ 日米欧のグローバルプラットフォームの確立により約40%がクロスボーダー案件

取引形態

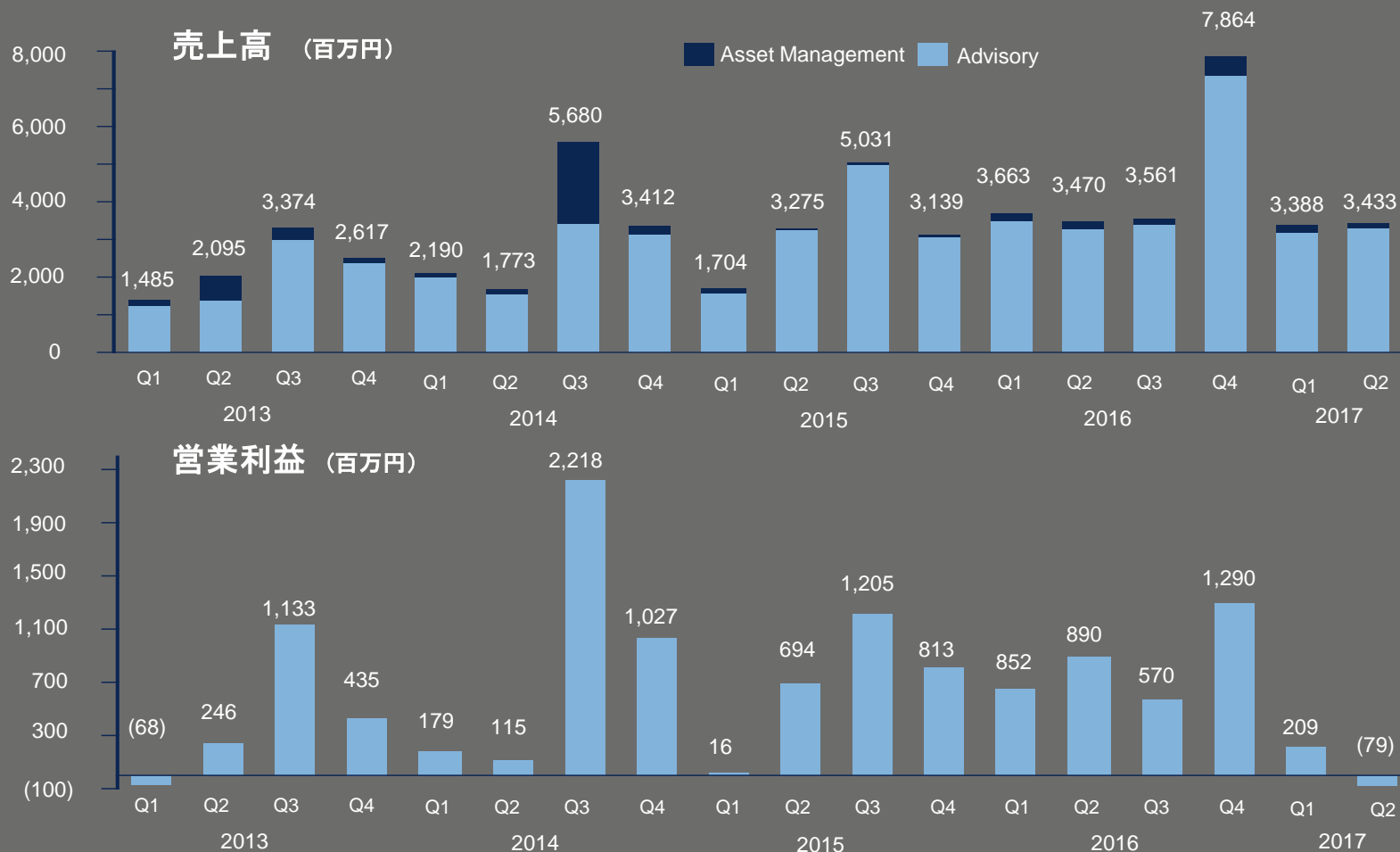


クロスボーダー vs. 各国の国内案件



売上・営業利益の四半期推移

当社の主要事業であるM&Aアドバイザリーは、案件成約(＝クロージング)のタイミングで成功報酬が計上されるため四半期売上高の変動が大きい。経営計画は通期売上高をベースとしている。



2017年上期の業績(ドメイン別売上)

Non-GAAPベース	実績		(単位:百万円)	
	FY 2016 上期	FY2017 上期	増減	%
売上高				
アドバイザーー日本	3,489	2,076	(1,413)	(40.5)%
アドバイザーー米国	3,283	1,952	(1,331)	(40.5)%
アドバイザーー欧州		2,465	2,465	n/a
アドバイザーー計	6,772	6,493	(279)	(4.1)%
アセットマネジメント	360	328	(31)	(8.7)%
売上高合計	7,132	6,821	(310)	(4.3)%
人件費	3,945	4,577	632	16.0%
賃料	378	596	218	57.7%
その他	1,267	1,518	251	19.8%
費用合計	5,590	6,691	1,101	19.7%
営業利益	1,542	130	(1,412)	(91.6)%
純利益	929	(39)	(968)	(104.2)%

バランスシート

自己資本比率は85%と高水準を維持

(単位:百万円)

科目	2016/6 ⁽¹⁾	2016/12 ⁽²⁾	2017/6 ⁽³⁾
現預金等	7,146	11,237	6,766
売掛金	1,581	2,467	1,526
営業投資有価証券	103	98	119
その他	860	1,654	1,613
流動資産	9,692	15,456	10,034
有形固定資産	892	1,332	1,293
投資有価証券	175	197	87
のれん		9,314	8,700
その他	633	1,090	1,193
固定資産	1,701	11,933	11,275
資産合計	11,394	27,389	21,309
未払法人税等	204	360	317
その他	1,856	7,200	2,931
負債合計	2,060	7,560	3,249
株主資本	8,781	19,355	17,401
自己株式		(795)	(795)
為替換算評価額等	551	1,269	1,495
純資産合計	9,333	19,829	18,060
負債・資産合計	11,394	27,389	21,309

2017年上期の代表的な案件

- 象徴的な案件を含む多くの公表案件及び完了案件
- 米国ではプライベートキャピタル/プライベートファンド案件が増加
- テクノロジー、インダストリアル、eコマース、消費財・流通セクターが得意分野

日本

 acquired  we do chemistry We advised Sojitz	 acquired the US glass fiber business of  We advised Nippon Electric Glass	 acquired  We advised Life Science Institute Inc.	 sold  We advised Rising Japan Equity	 sold 100% shares of Sweet Style Co. Ltd to  We advised iSigma
--	--	--	--	---

米国

 Closing of Vector Capital V, L.P. \$1,406,250,000 We advised Vector Capital	 sold to  We advised Trinitas Partners	 Series C Preferred Financing We advised TouchBistro	 Strategic investment from  We advised TIDAL	 Closing of InTandem Capital Partners Fund, L.P. \$186,200,000 We advised InTandem Capital
--	---	---	---	--

欧州

 sold to  a portfolio company of  We advised Solopress	 sold  to  We advised Migros	 a portfolio company of  sold to  We advised AXIO	 entered into a strategic partnership with  We advised the shareholders of ControlExpert	 sold to management and  We advised Brand Addition
---	--	--	---	---

資本政策：今期から配当方針を変更

1) 配当予想の修正 (2017年5月12日公表)

修正後の配当方針：年間配当金 **35円/株(下限)** で固定 (中間17.5円/株+ 期末17.5円/株)
将来は業容拡大に伴い下限を切り上げていく。

100%株主還方針：変更はなし

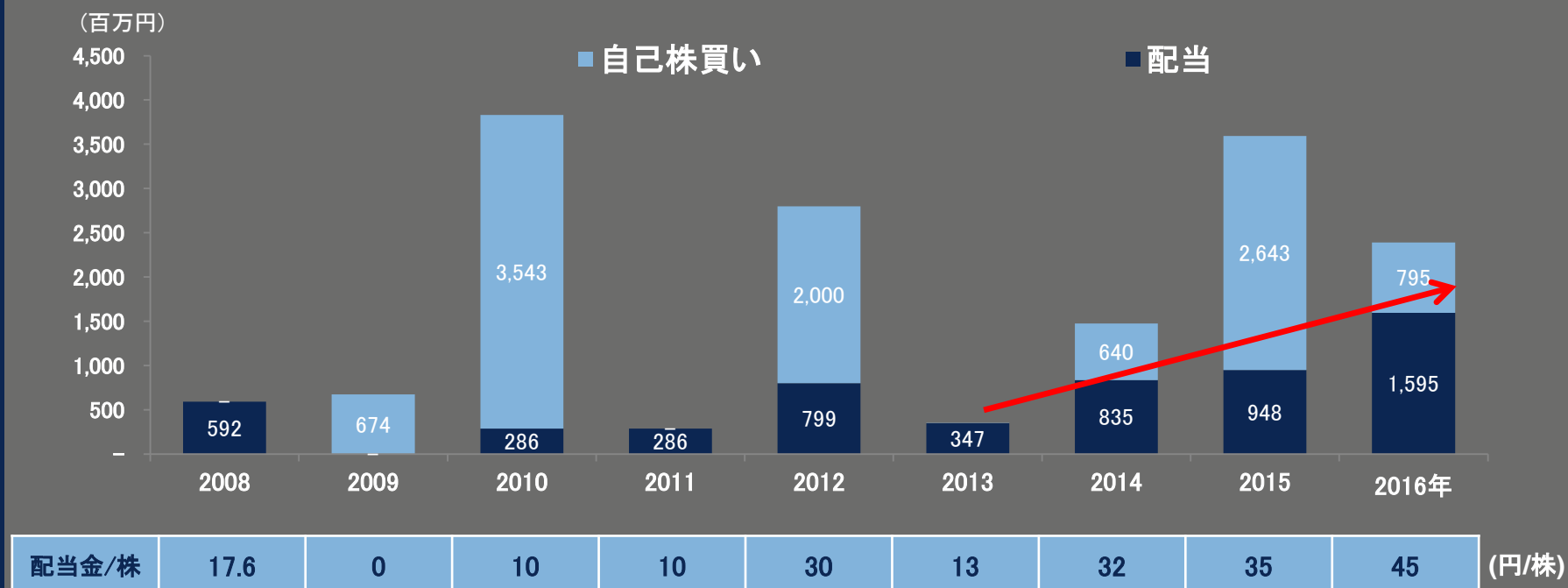
2) 中間配当

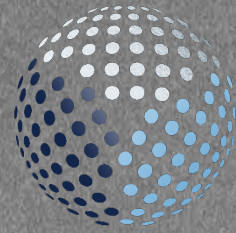
修正後の配当方針に基づき、中間配当17.5円/株を8月15日に実施する

資本政策：過去9年間の総還元性向は152%

過去9年間の総還元額は160億円、総還元性向は152%

2016年の配当利回りは約5%





Topics

経営統合に関するシナジー効果

経営統合による各地域でのメイン事業へのシナジー効果は絶大

米国

VCのセルサイド

期待通り



欧州

PEファンドのセルサイド

期待以上



日本

大企業の海外バイサイド

期待通り



GCAアルティウムは成長のための強力なエンジンとなる

豊富な手元資金でM&Aが加速する

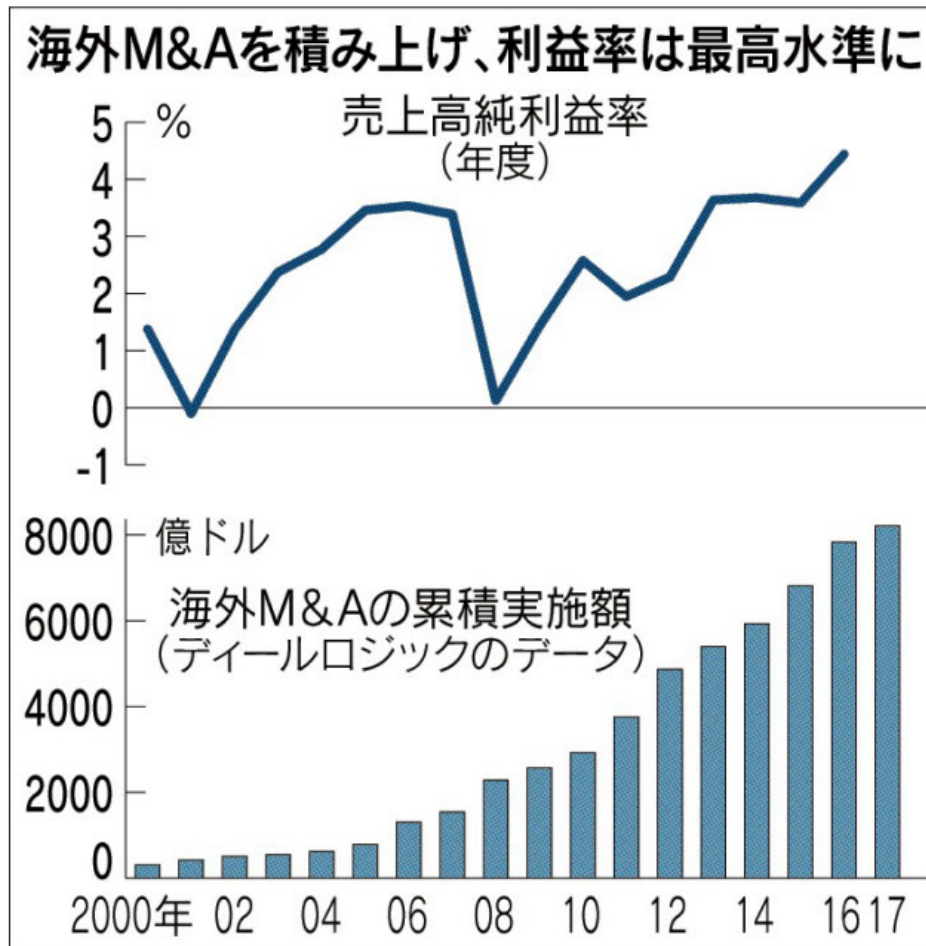
- ✓ 上場企業の財務余力がかつてなく高まっている。
- ✓ 2016年度末の手元資金は計112兆円と過去最高レベル、買収資金の原資となる。



出所) 日経新聞 (2017年5月26日)

海外M&A 91兆円 結実

- ✓ 日本企業の海外M&Aは2000年から2017年までに累計で91兆円となった
- ✓ これは上場企業の純利益合計の3分の1もの規模である
- ✓ クロスボーダー案件を得意とする当社の追い風となる



出所) 日経新聞 (2017年6月28日)

大企業によるベンチャー企業(VB)の買収が急増

テクノロジーに強いGCAの得意分野であり、シリコンバレーやイスラエルに拠点をもち、すべてのVBへアクセス可能

大企業によるベンチャーの買収・出資例

買い手企業	売り手企業(事業内容)	買収・出資額 公表時期
KDDI	ロコバートナース (宿泊予約サイト)	—
グリー	3ミニッツ (動画マーケティング)	43億円 17年2月
楽天	ファブリック (個人販売用アプリ)	数十億円 16年9月
トヨタ自動車	プリファード・ネットワークス(人工知能)	10億円 15年12月
三井物産・スカパーJSAT	アクセルスベース (超小型人工衛星)	約6億円 15年9月

(注)買収・出資額の一部は非公表、一部推定を含む

外部の技術などを自社に取り込み、新製品を生み出す手法は「オープンイノベーション」といわれ、VBへの出資・買収を通じてオープンイノベーションは、投資額は増えるが、VBの技術や人材を一段と自由に活用できる。買収額を含めた競争激化や、人工知能(AI)といった新技術が急進化する中、短期間で技術の獲得や新分野への拡大が加速している。大塚ホールディングス

外部の技術などを自社に取り込み、新製品を生み出す手法は「オープンイノベーション」といわれ、VBへの出資・買収を通じてオープンイノベーションは、投資額は増えるが、VBの技術や人材を一段と自由に活用できる。買収額を含めた競争激化や、人工知能(AI)といった新技術が急進化する中、短期間で技術の獲得や新分野への拡大が加速している。大塚ホールディングス

自前主義、転換の動き

大企業が技術や人材の取り込みを追い、ベンチャー企業(VB)に対する買収や出資を急進に増やしている。2016年の出資などを合わせたM&A(合併・買収)は12年に比べ、件数で約6倍、金額で約3倍に増えた。買収額を含めた競争激化や製品サイクルの短縮化が進む中、自前主義では限界と判断、VBの力を活用する。

大企業のM&A急増

ベンチャー技術・人材取り込み

4年で件数6倍



KONICA MINOLTA
コニカミノルタによる
Ambry Geneticsの買収



Ambry Genetics
with Innovation Network
Corporation of Japan

We advised Konica Minolta



Mitsubishi Chemical
Life Science Institute

生命科学インスティテュートによるクリオの買収



Clio

We advised
Life Science Institute Inc.



Takara

タカラバイオによる
RUBICON GENOMICS
の買収



RUBICON GENOMICS

We advised Takara Bio USA



Molecular Imprints

キヤノンによる
Molecular Imprints
の買収



Canon
make it possible with canon

We advised
Molecular Imprints



Santen

参天製薬による
INNOFOCUSの買収



INNOFOCUS
Working to Provide a Safe, Effective and Easy to Perform
Surgical Alternative for Treating Glaucoma

We advised
Santen Pharmaceutical Co.



Anritsu
envision: ensure

アンリツによる
Azimuth Systems
の買収



Azimuth

We advised
Anritsu Corporation

GCAテクノベーション始動

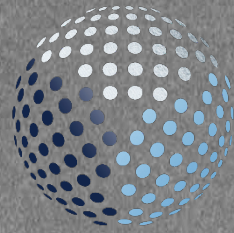
- ✓ ベンチャー企業のテクノロジーと、大企業の事業基盤との掛け合わせによるイノベーションの創造(テクノベーション)を支援
- ✓ 米・欧・イスラエルで培ってきたノウハウ・ネットワークを活用し、日本のベンチャーを巡るエコシステムの発展とグローバルスタンダードの定着に貢献



GCA TECHNOVATION

AMPLIAを改名し、GCAテクノベーションとして始動





補足資料

2017年の業績予想に修正無し (2017年より業績予想の開示を再開)

- 売上高はグローバルで200億円を目指す
- Non-GAAPベースで営業利益 36億円、純利益 24億円
- GAAPベースではのれんの償却の影響で一株利益は31円となるが、
実態を表すNon-GAAPベースでの一株利益は約2倍の63円となる

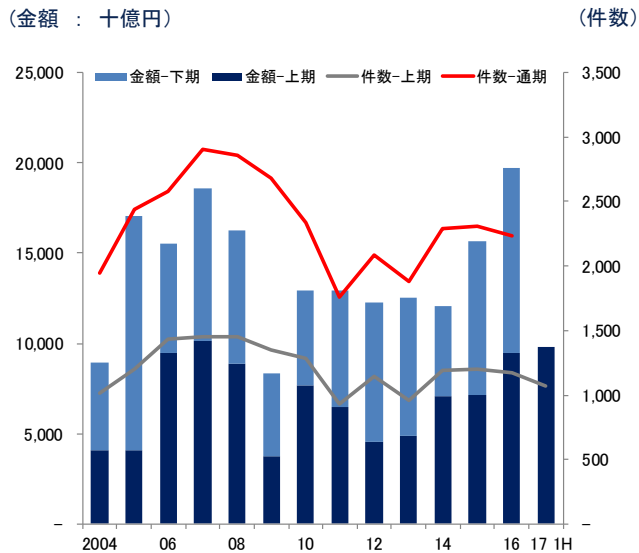
FY2017 業績予想	FY2017 (百万円)		
	日本基準	調整*	Non-GAAP (調整後)
売上高	20,000	-	20,000
営業利益	2,400 12%	1,200	3,600 18%
純利益	1,200	1,200	2,400
EPS(一株当たりの純利益)** (¥)	31.72		63.44

アドバイザー事業の大型案件(金額・件数)とプロフェッショナル数

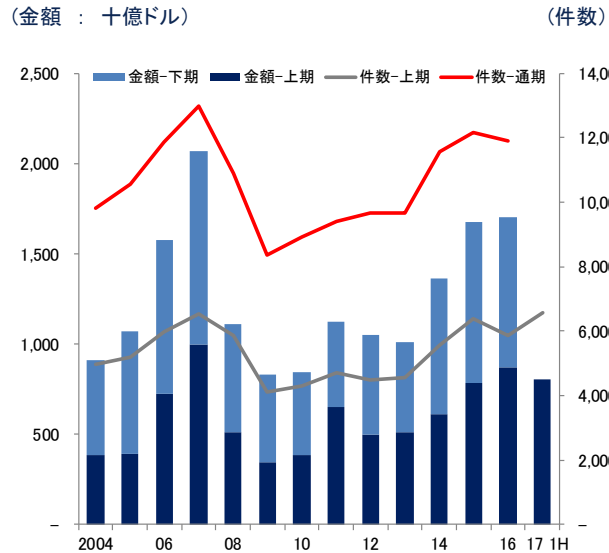
	2016				FY2016 Total	2017				FY2017 Total
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高(金額:百万円)										
アドバイザー-日本	1,765	1,502	1,324	1,833	6,424	787	988			1,775
アドバイザー-米国	1,602	1,682	1,093	2,440	6,817	1,452	500			1,952
アドバイザー-欧州			798	2,887	3,685	867	1,598			2,465
アドバイザー合計	3,367	3,184	3,215	7,160	16,926	3,106	3,086			6,192
大型案件(金額:百万円)										
アドバイザー-日本	853	1,048	875	1,452	4,228	144	617			761
アドバイザー-米国	1,151	1,239	851	2,361	5,602	1,255	332			1,587
アドバイザー-欧州			610	1,843	2,453	435	1,066			1,501
アドバイザー合計	2,004	2,287	2,336	5,656	12,283	1,834	2,015			3,849
大型案件(件数)										
アドバイザー-日本	5	6	4	5	20	1	4			5
アドバイザー-米国	4	3	4	9	20	5	2			7
アドバイザー-欧州			3	9	12	3	5			8
アドバイザー合計	9	9	11	23	52	9	11			20
期末プロフェッショナル数(人)										
アドバイザー-日本	85	94	94	99	99	101	112			112
アドバイザー-米国	70	71	77	79	79	78	72			72
アドバイザー-欧州			88	90	90	96	99			99
アドバイザー合計	155	165	259	268	268	275	283			283

グローバルM&A市場の推移(完了ベース)

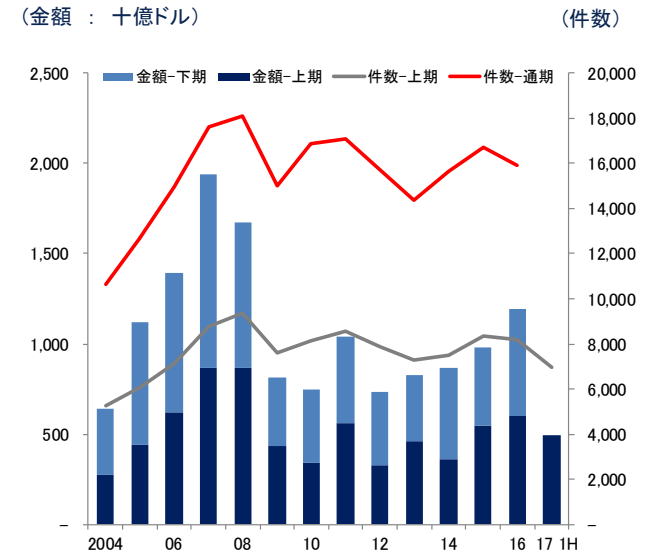
日本のM&A市場



米国のM&A市場



EMEAのM&A市場





***HONEST, UNBIASED, INCISIVE ADVICE –
AND ALWAYS FOR CLIENT’S BEST INTEREST***

本資料は、GCA株式会社の事業及び業界動向についてのGCA株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。GCA株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて、GCA株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載を更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。